

下地 壁面

タイル

陶磁器タイル

カチオンタイト 選定手順

- (1)次工程の仕上げ材を選択
- (2)適用材料を確認
- (3)施工道具を確認
- (4)塗り厚を確認

適用材料一覧

カチオンタイトF	⇒F
カチオンタイトT	⇒T
カチオンタイトFS	⇒FS
カチオンタイトTS	⇒TS
速硬カチオンコテ	⇒速コテ
速硬カチオンローラー	⇒速ロラ
カチオンフィラー	⇒フィラー
タイトワンコテ	⇒タイコテ
タイトワンローラー	⇒タイロラ
YS厚付けモルタル	⇒YS
速硬カチオン厚塗り	⇒速厚

(1)次工程の仕上げ材	(2)適用材料	(3)道具	(4)塗り厚
無機系	F/速コテ/タイコテ	コテ	1～3mm
(モルタル・漆喰・珪藻土など)	速厚	コテ	3～10mm
タイル仕上げ	F/FS/速コテ/タイコテ	コテ	1～3mm
(石張り仕上げ)	速厚	コテ	3～10mm
水性塗料仕上げ	F/速コテ/タイコテ	コテ	1～3mm
	速厚	コテ	3～10mm
	T/速ロラ/タイロラ	刷毛・ローラー	1mm
溶剤系塗料仕上げ	FS/速コテ	コテ	1～3mm
	速厚	コテ	3～10mm
	TS/速ロラ	刷毛・ローラー	1mm

施工上の注意

- カタログP15 必ずご確認ください。
- ・タイル表面に保護材などが塗ってある場合は事前にお問い合わせください。
 - ・タイルに浮きやクラックがある場合は、必ず補修をしてから施工して下さい。
 - ・コテ塗りのカチオンタイトは、コテ波が出やすい為、次工程で下地を捨てるような薄い仕上げ材を施工する場合は、別途補修材の施工や、ペーパーを当てるなどでご対応下さい。
 - ・ローラー施工の場合、仕上がりはフラットにはなりません。その為仕上げ材が薄塗り材ですと、施工跡が仕なりに影響する可能性がございます。
 - ・タイル目地を平滑にする場合はコテ塗りをご選定下さい。その場合、ゴムゴテでタイル目地を埋めた後、金鏝で所定の塗り厚を塗布して下さい。
 - ・次工程がタイル仕上げで、接着剤に一液弾性ボンドを使用する場合は、「速コテ」「速厚」をご選定下さい。また1Fの高さまでとして下さい。

※この表はあくまで原則であり、施工箇所、条件等により適用材料が変わる場合がございます。詳しくはお問い合わせ下さい。